

職員による自己評価

A環境面

- ・学習やお絵描きなど落ち着いて過ごせる部屋と体を使った遊びができる部屋が分かれている

B児童への支援内容

- ・個々のニーズを理解し、個別に支援できている
- ・苦手なことを少しずつ克服できるような支援プランを作成・実行している
- ・季節毎のプログラムの充実

C関係機関との連携

- ・西区放デイ連絡協議会に参加し役所・学校・他事業所との情報交換を行っている
- ・学校お迎え時、学校の先生と情報共有している

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・年2～3回の面談実施
- ・連絡帳・送迎時に情報共有

E非常対応

- ・年3回の避難訓練実施
- ・支援員の災害に対する勉強会を実施
- ・西区地域自立支援協議会の防災会議に参加し、周囲の事業所と連携を取り災害時の情報共有の環境を整えている

保護者による評価

A環境面

- ・十分なスペースの確保ができている
- ・クールダウンスペースが確保されている

B児童への支援内容

- ・子どもの特性を理解してもらい支援計画を立ててもらっている
- ・宿題を終わらせてもらって感謝している
- ・長期休みのプログラムが充実している

C事業所からの情報発信

- ・面談や日々の連絡帳で充分理解している
- ・お迎え時や送迎時の報告で充分
- ・保護者会は必要ではない

D非常対応

- ・下校途中や送迎時に緊急事態が発生した場合の連絡方法が不安
- ・学校の引き取り訓練に参加してもらい学校との連携がとれたので安心した

事業所内での分析

【共通点】

- ・スペースの確保が充分できている
- ・個々の特性を理解し個別に対応できている
- ・学校・家庭との情報の共有ができている
- ・活動プログラムが多様である

【相違点】

- ・緊急時対応マニュアルの周知
- ・避難訓練の内容の報告
- ・自力通所の子どもの緊急時の対応

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・静かに過ごす部屋と遊びの部屋が分かれています
- ・充実した活動プログラム
- ・実務経験豊富な支援員が多数
- ・子どもが通所を楽しみにしている

事業所の改善点

- ・災害に応じた防災対策の発信
- ・中高生向けの支援内容の見直し
- ・

事業所の改善への取り組み

- ・災害伝言ダイヤル、災害伝言板の活用の周知
- ・災害に応じた対策の発信
- ・避難訓練を行い、家庭への報告を徹底する
- ・支援員、子どもを含めた事業所全体で災害に対する認識を高め、災害に備える
- ・進学や就労に向けての支援を充実させる

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

子どものニーズに応じた適切な支援は保護者の方々に評価をしていただいているので
更なる質の向上に意識を持ち、ご家庭の支援にも繋げて行きたいと思えます。

今後も子どもたちが安心かつ安全に過ごせる場を心がけていきます。